

# 一 般 会 計 ・ 特 別 会 計

# 1 令和5年度施策及び事業の概要

## (1) 令和5年度施策及び事業の基本的考え方

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に掲げるそれぞれの欲張りなライフスタイルの実現を目指し、新型コロナウイルス感染症への対応、物価高騰・円安等への対応、社会的基盤の強化及びウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたLX（ローカル・トランスフォーメーション）の実践に注力するとともに、広島サミットの開催とレガシーの継承・発展に向けて取り組む。

デジタルトランスフォーメーションの推進やひろしまブランドの価値向上、生涯にわたる人材育成を施策・取組を貫く視点として、それぞれの取組を加速していく。

令和2年10月に策定した「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」（以下、「ビジョン」という。）においては、概ね30年後の本県のあるべき姿を構想した上で、10年後（2030年）の目指す姿を示したところである。

ビジョンでは、「県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」します～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～」を目指す姿として掲げて、「県民の挑戦を後押し」することと「地域の特性を生かした適散・適集な地域づくり」に取り組むこととしており、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン アクションプラン」（以下、「アクションプラン」という。）において設定したKPIの着実な達成に向けて施策等を推進していく。

このうち、令和5年度は、第一に、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）への対応、第二に、物価高騰・円安等への対応、第三に、社会的基盤の強化、第四に、ウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたLXの実践に注力する。

また、広島サミットについて、本年5月の開催に向けて、引き続き、官民一体となった「オール広島」で着実に準備を進めるとともに、そのレガシーを継承し、サミット後の本県の更なる発展につながるよう取り組んでいく。

## ■新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナは、県民生活や本県経済に大きな影響を及ぼしており、今後も中長期的に感染拡大が反復する可能性があることなどから、保健所等による感染制御・療養調整を含めた総合的な保健・医療提供体制の整備などを進める必要がある。

このため、県民・事業者に必要な感染防止対策の徹底を促すとともに、病床の確保などにより、医療体制のひっ迫を防ぎながら、診療体制の維持・確保や重症化リスクのある高齢者等を守る対策に取り組むなど、県民が安心して生活できる社会の確立に向けたウィズコロナの保健・医療提供体制を整備していく。

## ■物価高騰・円安等への対応

本県経済については、ウクライナ情勢などを背景とした物価高騰により、企業収益や家計を圧迫していることに加え、世界経済の動向、ウクライナ情勢の今後の展開、それに伴う資源価格の動向、国内外の感染症の動向など、多くのリスク要因も懸念されており、先行きは予断を許さない状況である。

引き続き、物価高騰や円安などによる県内産業や県民生活への影響を注視しつつ、影響を受ける事業者や県民に必要な支援が行き届くよう、国や市町とも連携して、時機を逸することなく、必要な対策を講じる。

## ■社会的基盤の強化

### 【地域共生社会の実現】

人口減少や少子化・高齢化の進展に加えて、長期化するコロナ禍の影響もあり、地域での人と人とのつながりや支え合う意識の希薄化が一層進む中で、複合的な課題や制度の狭間の問題などが顕在化していることから、県民誰もが住み慣れた地域でつながり、生きがいや役割を持ち、支え合いながら生き生きと暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組がこれまで以上に重要になると考えられる。

このため、市町や関係機関との連携を通じて、長期化するコロナ禍で生活に困窮している方々等が直面する課題を受け止め、保健、福祉、雇用等に携わる県内の様々な支援機関が、相互に連携して、本人や家族に寄り添い、継続的な支援に取り組む。

高齢者人口の増加に伴って医療ニーズが高まる一方で、労働力人口の減少などにより、医療サービスを支える人的な資源は縮小することから、地域医療構想の実現に向けて、「高度医療・人材育成拠点基本構想」に基づく新病院の医療機能や施設整備等に関する検討など、医療提供体制の構築に向けて取り組む。

### 【激甚化・頻発化する気象災害等への対応】

近年、激甚化・頻発化する気象災害等から人命を守るとともに、社会経済活動への影響を最小限としていくためには、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策の充実・強化に取り組む必要がある。

このため、平成30年7月豪雨災害等の被災地における再度災害防止対策に全力で取り組むとともに、計画的な防災施設の整備や既存施設の維持管理、適切な土地利用の促進、災害リスク情報の充実、地域における適切な避難行動の促進などの事前防災対策に取り組む。

## ■ウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたL Xの実践

新型コロナの感染拡大は、観光業や飲食業をはじめとする様々な産業への経済的損失や、グローバル規模でのサプライチェーンの分断など、社会経済に深刻な影響を及ぼした。また、デジタル技術の利活用の遅れや人口密度が高い大都市を中心とした感染症拡大への脅威などの構造的な課題を改めて顕在化させ、人の意識を密から分散へ、デジタル技術を活用した時間や場所に捉われない柔軟な働き方や暮らし方へと変化させた。

このような社会的・経済的変化が生じる中、A I、I o T、5 Gなどのデジタル技術は急速に進展しており、地方を取り巻く状況は、新たな局面を迎えている。

こうした局面をチャンスと捉え、高いQ O Lを含め地域が持つ様々な資源や特性を生かして、地方を挑戦の場に変革していく、L X（ローカル・トランスフォーメーション）を実践していく観点から、生産性向上、D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進及びリスクリングの推進と円滑な労働移動の実現に向けて取り組むとともに、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた国の政策等とうまく組み合わせることで経済の発展的回復につなげる。

### 【生産性向上】

スタートアップの力や成長の原動力となる経営者や個々人の挑戦心（アニマル・スピリッツ）は不可欠であり、挑戦心を育む土台となる、クリティカルシンキングや、やり遂げる力など重要な非認知能力が身に付く教育をはじめ、スタートアップエコシステムの形成や、国内外からの投資を呼び込むなど、果敢に挑戦する人材が地方において活躍できる環境整備などを行うことが必要である。

「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材」を育成すべき人材像と掲げ、乳幼児期から社会人まで一貫した人づくりに取り組んでおり、乳幼児期においては、子供が育つ環境にかかわらず、県内全ての乳幼児に、自ら課題を見付け、課題の解決に向けて探求する力の芽を育成するために質の高い教育・保育が行われるように取り組む。

「イノベーション・ハブ・ひろしま C a m p s」を中心に取り組んでいる、人材育成や新規事業開発への支援に加え、広島から、ユニコーン企業のように世界に羽ばたき大きく成長することを志す、有望なスタートアップ企業等を対象にした成長支援など、「イノベーション創出拠点ひろしま」としての活動を促進する。

### 【D Xの推進】

デジタル技術を活用したD Xの潮流は、産業構造や働き方・暮らし方等に大きな変革をもたらし、社会をより便利で快適なものにする大きな可能性を秘めており、地方を含めた日本全体、世界全体に不可逆的な影響を及ぼすものだと考えられる。

一方でこれまでの産業構造が技術革新等により大きく変化することで従来の強みが十分に生かされなくなることや、首都圏等に偏在するデジタル企業が提供するデジタルサービスに依存することにより、人材を含む県内の「富」が県外に流出することなどが懸念される。

こうした状況において、本県が持続的に成長していくためには、デジタル実装の実践や人的投資や資金的投資を促すなど、DXの推進に必要なデジタル技術や人材を県内の企業に蓄積させつつ、DXに継続的に取り組む必要がある。

これまでDXの実践意欲の向上に向けた機運醸成や、「仕事・暮らし」、「地域社会」、「行政」の各分野においてDX関連施策を全庁的な取組として推進してきた結果、DXの必要性に対する理解は進みつつあるが、実際にはDXに取り組めていない民間事業者や行政機関がまだ多いのが現状である。

このため、行政においてDXに更に積極的に取り組むとともに、民間事業者の自律的・持続的な取組を後押しするため、広島県DX加速プランに基づき、取組を進める。

### 【リスキリングの推進と円滑な労働移動の実現】

近年のデジタル技術の進展や、新型コロナの影響による働き方の多様化といった、産業構造や経営環境などの急激な変化への対応が求められており、新たな業務や業種に順応できる人材の確保に向けて、デジタルスキルなどの企業の経営戦略やビジネスモデルの変革に伴い必要となるスキル・知識を習得するリスキリングの実施といった「人への投資」の強化、大都市圏等の人材の地域への還流の促進などに取り組む必要がある。

このため、企業におけるリスキリングの取組拡大に向けて、デジタル基礎知識の習得支援、リスキリングの機運醸成や労働市場の流動化に向けた対応策等の検討に取り組むとともに、産業構造の変化に対応したデジタル人材等の活用を促進するため、県内企業に対する副業・兼業を活用した成功事例の横展開などの多様な人材活用に対する支援に取り組む。

## ■それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

### 【県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる】

人口減少と少子高齢化の進展や地域経済の成熟化に加え、新型コロナや度重なる災害の発生、物価高騰など、将来に対する先行きの不透明感が増す中で、県民が将来にわたって安心して暮らすことができるよう、県民が抱える不安を軽減し「安心」の土台づくりとなる取組を進めていく。

令和5年度は、妊娠期から切れ目のない見守り・支援の充実や、乳幼児期から社会人まで一貫した人づくりの取組、医療的ケア児及びその家族への支援等を行っていく。また、将来にわたって県民が安心して暮らすことができるよう、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策や、治安・暮らしの安全の確保等に取り組む。

さらに、ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けて、省エネルギー対策や再生可能エネルギー導入の促進、カーボンサイクルの推進など、本県の産業構造や地域特性を踏まえ、環境と地域経済の好循環につながる取組を一層推進していく。

### 【県民の『誇り』につながる強みを伸ばす】

県民の挑戦を後押しする土壌につながる県民の更なる「誇り」の醸成に向けては、これまで取り組んできた観光地の魅力づくりや、豊かな自然がもたらす多彩な食の発信、ものづくりをはじめとした多様な産業の振興などを、適切に取組を進めていく。

令和5年度は、アフターコロナやSDGsなど、社会環境の変化から発生するニーズを的確に捉え、新たなビジネスやイノベーション創出に向けた取組や農水産物のブランド化、ブランド価値の向上につながる魅力づくり等に取り組む。また、県内スポーツチームを応援する環境の構築や、文化芸術に親しむ環境の構築、核兵器廃絶に向けて国際的な合意形成を目指した多国間の枠組みづくりを行う。

### 【県民一人一人の夢や希望の実現に向けた『挑戦』を後押し】

県民一人一人が、「安心」や「誇り」を原動力として、県内のどこに住んでいても、仕事も暮らしも追求することができ、それぞれの夢や希望に「挑戦」していける基盤を築き、その様々な挑戦の後押しとなる取組を進める。

令和5年度は、環境変化に対応したものづくり企業の新分野等への進出支援やゲノム解析・編集技術の県内企業等による産業活用促進に向けた基盤づくりなどに取り組む。

さらに、炭素資源が持続的に循環する社会経済である「カーボン・サーキュラー・エコノミー」の実現に向けて、令和3年度に策定した推進構想に基づき、環境・エネルギー分野など世界的な動向や社会環境の変化をとらえた新たなビジネスモデルの構築を支援する。

### 【特性を生かした適散・適集な地域づくり】

本県の強みである「都市と自然の近接性」を最大限生かし、県全体の発展を牽引する魅力ある都市、自然豊かで分散であることを生かした中山間地域及び利便性の高い集約型都市の形成に取り組み、「適切な分散」と「適切な集中」に応じた地域づくりを進めていく。

令和5年度は、持続可能な中山間地域の実現のため、地域の課題を解決し新たな価値を生み出していくための人材育成や、都心部においては、人を惹きつける魅力ある都心空間の創出のため、官民一体となったまちづくりを推進する。また、都市機能の集約のための立地適正化計画の策定の推進などに取り組む。

## ■広島サミットの開催とレガシーの継承・発展

世界情勢が緊迫化し、核兵器使用のリスクが高まる中、G7サミットが広島で開催されることの意義は非常に高く、広島サミットにおいては、被爆地広島から力強い平和のメッセージを世界中に発信するとともに、核兵器のない真に平和な世界の実現に向けた機運が高まるよう様々な取組を行う必要がある。

また、G7サミットの開催は、世界中の多くの人々の注目が集まることから、広島多くの魅力を世界に発信し、国内のみならず、世界各国からも注目を集め、広島を訪れる、あるいは選んでもらえる契機となるよう取組を行う必要がある。

こうした観点を含めて、広島サミットに参加する関係者のみならず、サミットを機に広島を訪れる来訪者にとって「広島に来てよかった」、また、広島でお迎えする県民にとっても「広島で開催されてよかった」と思ってもらえるよう着実に準備を進め、広島サミットを成功に導くとともに、サミット後の広島の更なる発展につながるよう、「広島サミット県民会議」の行動指針である5つの柱に沿った取組を進めていく。

### **【安全、安心で円滑なサミットの開催を支援】**

国の関係省庁や警察、医療機関などの関係機関との調整を進め、新型コロナへの対応も含め、サミットを安全、安心かつ円滑に開催できる環境を整えるよう全県を挙げて取り組む。

### **【広島らしさを感じていただくおもてなし】**

サミットの開催に向けて県内の歓迎機運を高め、サミットに参加する各国関係者や報道機関、サミットを契機に広島を訪れる方々に対して、広島ならではのおもてなしでお迎えし、その結果、訪れるすべての方が広島ファンになるよう取り組む。

### **【世界に向けた平和の発信】**

サミット開催期間中に、各国首脳をはじめとしたサミット関係者に、被爆の実相に直接触れてもらう機会を提供することで、核兵器の恐ろしさに理解を深めてもらうとともに、核兵器のない平和な世界の実現に向けた発信に取り組む。

### **【県民市民によって磨き上げられた広島の魅力を世界に発信】**

広島の2つの世界遺産と1つの世界無形文化遺産をはじめ、活力あふれる産業やスポーツ・文化、多彩で美味しい山海の食資産、神楽等の伝統と豊かな自然が融合した文化など、先人たちが築き上げてきた広島の多くの魅力の発信に取り組む。

### **【サミットの成果を未来につなぐためのポストサミットを見据えた若者の参画】**

サミットの成果を未来につなぐため、サミットに関連する様々なプログラムに、未来を担う若者が参加することで、若者の国際感覚やチャレンジ精神を涵養するとともに、国際問題に関心を持ち理解を深めた若者たちが今後の広島の担い手として自発的な行動を起こすことができるような支援に取り組む。

## (2) 令和5年度当初予算の概要

(国の経済対策等を活用した令和4年度補正予算を含む)

国の経済対策等を活用した令和4年度補正予算と一体的に予算編成し、ビジョンに掲げるそれぞれの欲張りなライフスタイルの実現を目指し、新型コロナウイルス感染症への対応、物価高騰・円安等への対応、社会的基盤の強化及びウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたLXの実践に注力するとともに、広島サミットの開催とレガシーの継承・発展に向けて取り組む。

### ア 予算規模等 [一般会計ベース]

令和5年度当初予算

1兆1,403億円



国の経済対策等を活用した令和4年度補正予算※341億円と一体で編成  
[※令和4年度12月補正及び2月補正のうち国の経済対策等を活用したもの]

令和5年度当初予算

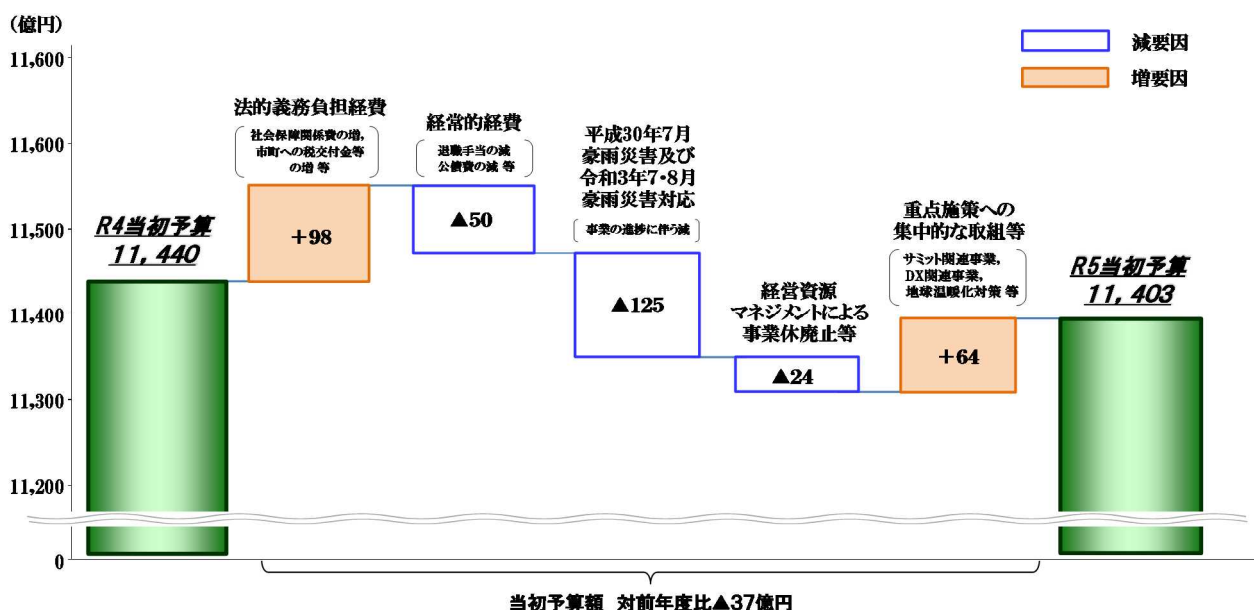
1兆1,745億円

+ 令和4年度補正予算

(国の経済対策等活用分)

### イ 前年度からの主な増減要因

- 高齢化の進展等に伴う社会保障関係費の増や、税収増に伴う市町への税交付金等の増などにより、法的義務負担経費が増加する一方、公債費の減などにより、経常的経費が減少。
- また、平成30年7月豪雨災害及び令和3年7月・8月豪雨災害からの復旧・復興関連事業について、事業の進捗に伴い減少。
- 依然として厳しい財政状況の中、施策や事業等のプライオリティや費用対効果の検証・評価を踏まえた事業の休廃止及び事務・事業の見直しの徹底など、経営資源マネジメントの実施により、経営資源を確保した上で、重点施策の推進等に集中投資。



[注1] 端数処理の関係で積上げ数値と合計値等が異なる場合がある。



## ウ 重点施策への集中的な取組（主要事業）

### (ア) 新型コロナウイルス感染症への対応

722 億円 <sup>注2</sup>

新型コロナウイルス感染症への対応 3つの柱	事業費	R5当初	
		R5当初	R4補正 <sup>注3</sup>
感染拡大防止対策	132億円	122億円	10億円
医療提供体制の確保	284億円	284億円	—
事業継続と雇用維持	297億円	296億円	1億円
その他	8億円	7億円	2億円
計	722億円	709億円	13億円

### (イ) 物価高騰・円安等への対応

169 億円 <sup>注2</sup>

施策体系	事業費	R5当初	
		R5当初	R4補正 <sup>注3</sup>
物価高騰による影響の緩和	160億円	125億円	35億円
ネット・ゼロカーボン等の取組の後押し	9億円	—	9億円
計	169億円	125億円	44億円

### (ウ) 社会的基盤の強化

705 億円 <sup>注2</sup>

施策体系	事業費	R5当初	
		R5当初	R4補正 <sup>注3</sup>
地域共生社会の実現	69億円	69億円	—
激甚化・頻発化する気象災害等への対応	636億円	455億円	181億円
計	705億円	524億円	181億円

### (エ) ウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたLXの実践

212 億円 <sup>注2</sup>

施策体系	事業費	R5当初	
		R5当初	R4補正 <sup>注3</sup>
生産性向上	64億円	63億円	1億円
DXの推進	146億円	146億円	—
リスクリングの推進と円滑な労働移動の実現	2億円	2億円	—
計	212億円	211億円	1億円

### (オ) それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

914 億円 <sup>注2</sup>

施策体系	事業費	R5当初	
		R5当初	R4補正 <sup>注3</sup>
県民の挑戦を後押し	884億円	702億円	182億円
県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる	786億円	605億円	181億円
県民の『誇り』につながる強みを伸ばす	86億円	86億円	—
県民一人一人の夢や希望の実現に向けた『挑戦』を後押し	12億円	11億円	1億円
特性を生かした適散・適集な地域づくり	30億円	30億円	—
計	914億円	732億円	182億円

### (カ) 広島サミットの開催とレガシーの継承・発展

31 億円 <sup>注2</sup>

施策体系	事業費	R5当初	
		R5当初	R4補正 <sup>注3</sup>
広島サミットの開催とレガシーの継承・発展	1億円	1億円	—
①安全、安心で円滑なサミットの開催を支援	24億円	24億円	—
②広島らしさを感じていただくおもてなし	0.4億円	0.4億円	—
③世界に向けた平和の発信	0.1億円	0.1億円	—
④県民市民によって磨き上げられた広島の魅力の世界に発信	5億円	5億円	—
⑤サミットの成果を未来につなぐためのポストサミットを見据えた若者の参画	0.1億円	0.1億円	—
計	31億円	31億円	—

[注2] 予算額は全て一般会計ベースで、それぞれの項目間で重複がある。

[注3] R4補正とは、国の経済対策等を活用した令和4年度12月及び2月補正予算である。

[注4] 端数処理の関係で積上げ数値と合計数値等が異なる場合がある。

## エ 会計別予算の状況

(単位:百万円, %)

区 分		令和4年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	対前年度 当初比
一 般 会 計		1,144,020	1,140,320	99.7
特 別 会 計	証 紙 等	3,083	2,803	90.9
	管 理 事 務 費	638	623	97.8
	公 債 管 理	280,263	291,068	103.9
	母 子 ・ 父 子 ・ 寡 婦 福 祉 資 金	458	296	64.7
	国 民 健 康 保 険 事 業 費	229,598	229,860	100.1
	中 小 企 業 支 援 資 金	1,859	851	45.8
	水 産 振 興 資 金	8	1	15.9
	県 営 林 事 業 費	677	623	92.1
	港 湾 特 別 整 備 事 業 費	16,046	25,538	159.2
	県 営 住 宅 事 業 費	6,153	5,063	82.3
	高 等 学 校 等 奨 学 金	585	567	96.9
	計	539,366	557,294	103.3
	企 業 会 計	病 院 事 業	31,609	32,446
工 業 用 水 道 事 業		4,518	0	皆減
土 地 造 成 事 業		3,993	7,664	191.9
水 道 用 水 供 給 事 業		17,977	0	皆減
流 域 下 水 道 事 業		13,457	14,940	111.0
計		71,554	55,050	76.9

[注5] 企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計である。

[注6] 端数処理の関係で積上げ数値と合計値等が異なる場合がある。